

さまざまなシーンで乗り心地と運動性能を両立

市街地から高速道路、ワインディングまで、あらゆるシーンで、全ての人が快適な移動を楽しむことができるよう乗り心地と運動性能を高い次元で両立させることを目指しました。

高い走りの質感を実現するサスペンション

サスペンションは、フロントサスペンションを新開発し、乗り心地と操縦安定性の両立、ロール角のコントロールなどにより走りの質感を向

上。加えて、装着タイヤやエンジンの違い等、全てのタイプに専用のセッティングを施しています。

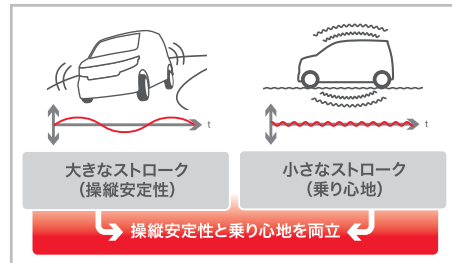
◆ 乗り心地と操縦安定性の両立

ダンパーには、低フリクションピストンリングを採用することで作動性を向上させ、路面からの小さな振動もしっかり吸収。ダンパーロッドを支持するロッドガイドは、テフロンリングを追加した上で、締めしるを縮小。これにより、ダンパーの減衰力を最適化でき、小さなストロークが連続する場面での乗り心地を向上させながらも、コーナリング時など大きなストロークの際にはしっかりと踏ん張るセッティングとすることが可能になりました。

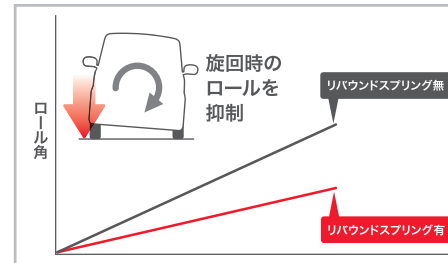
◆ ロール角のコントロール

ダンパー内部にリバウンド側で作動するスプリングを内蔵したリバウンドスプリング付きダンパーを採用。スタビライザーに近い機能をダンパーに持たせてロール角とロールスピードをコントロールすることでステアリング操作に対してリニアに車体がロールしていく、質感の高いハンドリングを実現しています。

■ テフロンリングのメリット



■ リバウンドスプリングのメリット



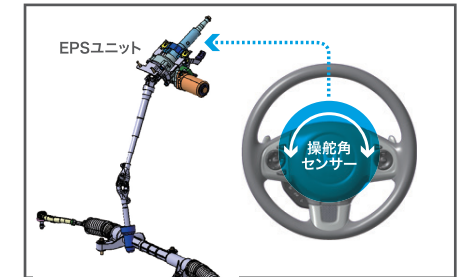
軽快感と安定感を両立させた電動パワーステアリング

電動パワーステアリングには、市街地から高速道路まで走行シーンを問わず、常に快適で安心して運転を楽しめるよう、新たな制御を採用しています。

これは全タイプに標準装備したVSA(P.26参照)に使用するステアリング舵角センサーの情報を利用した高精度な制御で、交差点、Uターンなどでのハンドルの戻りやすさや、高速走行時のハンドル中立付近でのしっかり感も制御できます。これらにより、市街地走行における軽快なハンドリングに寄与するクイックなレシオ

設定としながらも、高速走行時の高い直進安定性との両立を実現しています。

■ 電動パワーステアリング新制御



引きずり抵抗を低減して燃費向上に寄与するブレーキ

通常、ブレーキパッドは走行中も常にブレーキディスクとわずかに接触しており、これが走行抵抗となって燃費を悪化させることがあります。

これに対し、N-WGNではブレーキ性能を維持しながら、走行時の引きずり抵抗が少ないブレーキを採用しました。

■ 低引きずり抵抗 ブレーキキャリパー説明図

